

兵庫県下の経済動向

平成27年5月

但馬銀行
TAJIMA BANK

目 次

概 況	1
生 産	2
個 人 消 費	4
設 備 投 資	6
住 宅 投 資	8
公 共 工 事	9
貿 易	10
物 価	11
雇 用	13
信 用 保 証	15
金 融	16
倒 産	17

【概 況】

最近の県内景気は、一部に弱めの動きがみられるものの、基調的には緩やかに回復している。個人消費は一部に弱めの動きがみられるものの、基調としては緩やかに持ち直している。また、設備投資は全体としては増加している。住宅投資は下げ止まっている。

需要面の動きをみると、個人消費は、百貨店売上高が13か月連続で前年実績を下回った。

乗用車販売は、4か月連続で前年を下回った。

家電販売は、弱含んでいる。

設備投資は、非製造業、製造業ともに増加しており、27年度は増加となる見込み。

住宅投資は、貸家、分譲住宅、給与住宅が増加したが、持家が減少し、全体では6か月ぶりに前年を上回った。

公共工事請負金額は独立行政法人等で著増、神戸市で大幅増、兵庫県で前年並みになるも、国、その他の団体、神戸市を除く市町で大幅減になったことものの、3か月ぶりに前年を上回った。

貿易は、輸出は、中国、中国を含むアジア、米国、EU向けが増加したため、2か月連続で前年を上回った。輸入についても3か月連続で前年を上回った。

生産活動は、鉱工業生産指数でみると、2か月ぶりに前年を上回った。

雇用関係では、有効求人倍率、新規求人数ともに前年を上回った。

また、一人当り名目賃金、常用労働者数、所定外労働時間ともに前年を下回った。

金融情勢は、預金、貸出ともに前年を上回って推移している。

企業倒産は、件数、負債金額ともに前年を下回った。

兵庫DI及び兵庫CIから見た県内の景気動向

3月の兵庫DIは、先行指数14.3%、一致指数77.8%、遅行指数50.0%となった。

3月の兵庫CIは、先行指数86.2、一致指数122.1、遅行指数107.4となった。

兵庫DIは、一致指数が2か月連続で20%を下回り、一致指数は7か月連続で50%を上回った。

一方、兵庫CIは、先行指数は2か月連続で前月差減、一致指数は2か月ぶりに前月差増、遅行指数は2か月連続で前月差減となった。

県統計課は基調判断を「兵庫CI一致指数は、改善を示している。」としている。

*兵庫DIと兵庫CI・・・兵庫県内の経済指標から景気の状態を導く指数。県景気変動指数(兵庫DI)は50%が好不況の別れ目で、景気の拡張、後退などを判断する。県景気総合指数(兵庫CI)は景気変動の大きさを測定し、指数の前月との差の大小をみる。

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

【生 産】

3月の県鉱工業生産指数(平成22年=100、季節調整済、速報)は110.3、前月比6.8%増加。出荷指数は106.5、同1.1%減少。在庫指数は113.8、同2.2%増加。在庫率は114.3、同16.2%減少。生産指数、在庫指数ともには2か月ぶりに増加したが、出荷指数は2か月連続で減少した。在庫指数は2か月ぶりに上昇した。

前年同月比(原指数)では、生産は12.6%増で3か月連続で増加し、出荷は7.4%増で、4か月連続で増加、在庫は6.1%増で3か月連続で増加した。

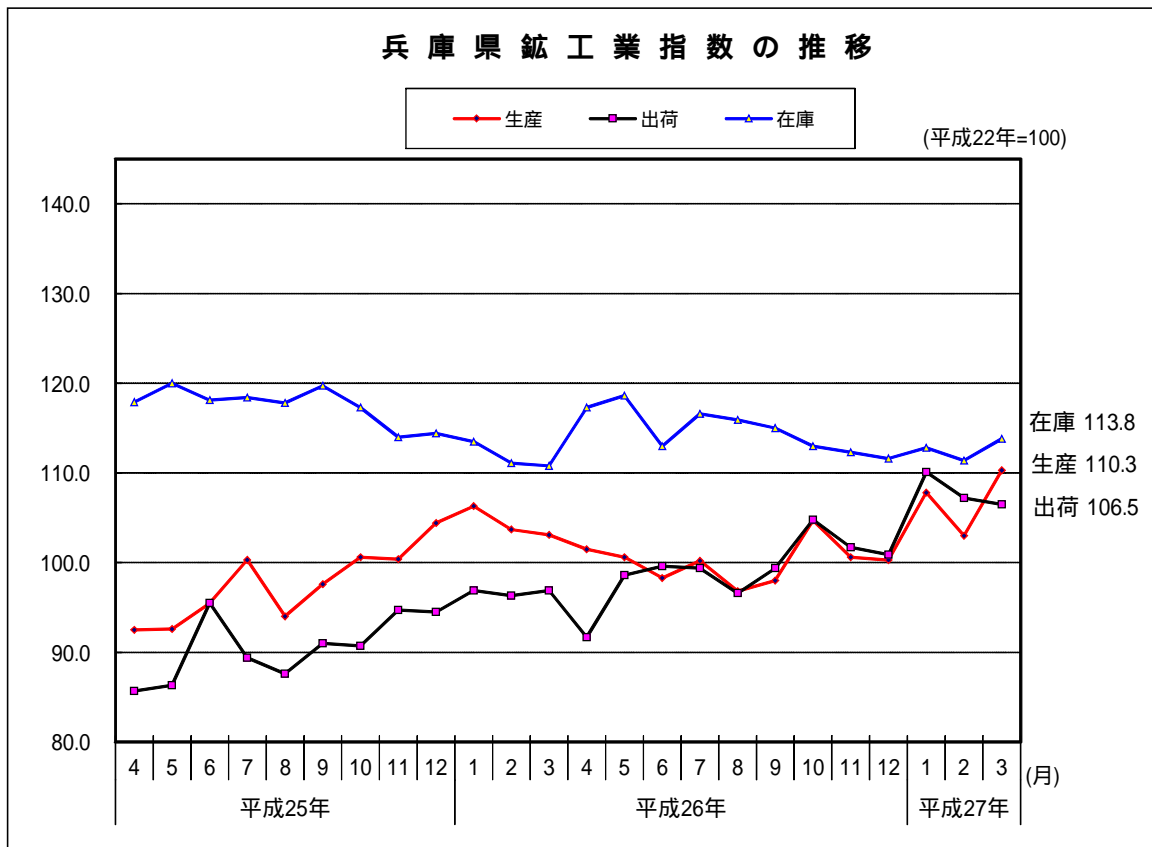
主要業種の生産動向を対前月比で見ると、旅客車等の「輸送機械工業」が24.9%、反応用機器等の「はん用・生産用・業務用機械工業」が24.2%、固定通信装置等の「情報通信機械工業」が3.2%、ガス風呂がまの「金属製品工業」が0.3%各々上昇し、特殊鋼熱間圧延鋼材等の「鉄鋼業」が1.0%、清酒等の「食料品工業」が1.6%、リチウムイオン蓄電池等の「電気機械工業」が3.1%、セメント等の「窯業・土石製品工業」が5.0%、医薬品等の「化学工業」が6.1%下落した。

県統計課は、基調判断を「持ち直しの動きがみられる」とした。

3月の兵庫県鉱工業指数 (速報、平成22年=100)

区 分	季節調整 済指数	対前月比 増減(%)	原 指 数	
				対前年同月 比増減(%)
生 産	110.3	6.8	130.9	12.6
出 荷	106.5	1.1	126.7	7.4
在 庫	113.8	2.2	109.2	6.1
在 庫 率	114.3	16.2	95.1	11.5

資料：兵庫県企画県民部統計課



2月の県内鉱工業生産指数(主要9業種の動向)

(速報、平成22年=100)

業 種	指 数	対前月比 増減 %	指数の上昇又は低下に寄与した品目	
鉄 鋼	101.5	1.0	上昇	H形鋼、鍛鋼品、ブリキ、普通鋼冷延電気鋼帯
			低下	特殊鋼熱間圧延鋼材、鋼半製品、普通鋼線材、特殊鋼冷間仕上鋼材(圧延鋼材)
金属製品	89.8	0.3	上昇	ガス風呂がま、機械刃物、ガス温水給湯暖房機、ねじり棒ばね
			低下	橋りょう、超硬チップ、石油温水給湯暖房機、鋼策
はん用・生産用・業務用機械	114.6	24.2	上昇	反応用機器、一般用蒸気タービン、はん用内燃機関、建設用クレーン
			低下	蒸気タービン部品、ボイラ部品、コンベヤ、ショベル系掘削機械
電気機械工業	121.2	3.1	上昇	開閉制御装置、非標準油入り変圧器(10000kVA以上)、一般用タービン発電機、一般用エンジン発電機
			低下	リチウムイオン蓄電池、電気変換装置、アーク溶接機、プログラマブルコントローラ
情報通信機械	173.3	3.2	上昇	固定通信機器、カーナビゲーション、搬送装置、端末装置
			低下	テレメータ・テレコントロール、携帯電話、レーダ装置、入出力装置
輸送機械	117.2	24.9	上昇	旅客車、二輪自動車(125ml超) 機関部品、船用ディーゼル機関
			低下	機体部品、特装ボデー、発動機部品、駆動伝導・操縦装置部品
窯業・土石製品	103.0	5.0	上昇	ファインセラミックス(構造材) ほうろう鉄器製品、遠心力鉄筋コンクリート管、空洞コンクリートブロック
			低下	セメント、せっこうボード、遠心力鉄筋コンクリートパイプ、安全ガラス
化 学	106.2	6.1	上昇	エポキシ樹脂、塩化ビニル樹脂、自動車排気ガス浄化用触媒、アクリル酸エステル
			低下	医薬品、化粧品、水系合成樹脂塗料、無水酢酸
食 料 品	92.9	1.6	上昇	ビール類、塩、パン類、乳飲料
			低下	清酒、肉製品、めん類、しょうゆ

資料：兵庫県企画県民部統計課

【個人消費】『百貨店売上』

兵庫県百貨店協会がまとめた4月の県内百貨店売上高は、前年同月比11.6%増の145億18百万円と2014年3月以来13か月ぶりに前年実績を上回った。

品目別では、美術・宝石・貴金属の56%増、化粧品の41%増と、高級品の好調が目立った。また、家電も79.1%増、家具も57.2%増となった。

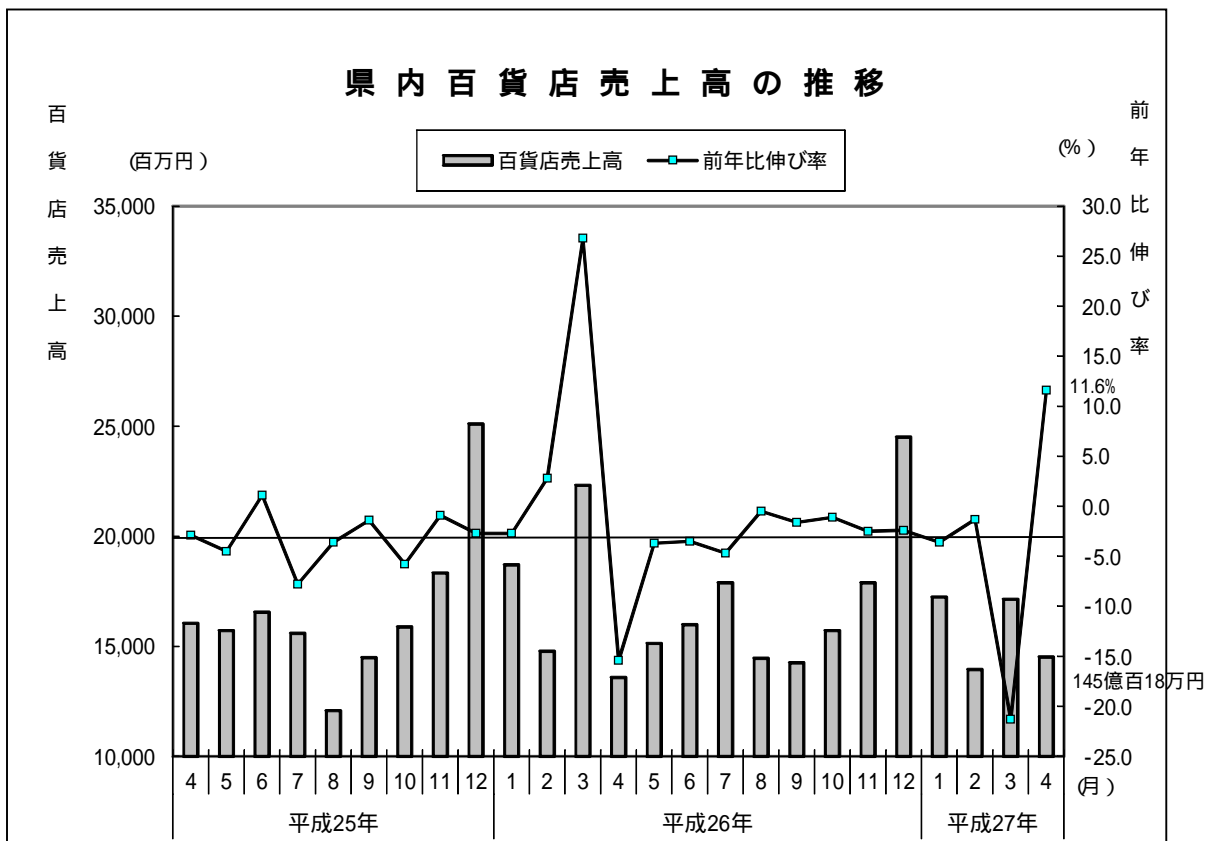
神戸地区は前年同月比12.7%増となり、大丸神戸店の担当者は「増税に伴い落ち込んだ品目で需要の回復が見られる」とした。姫路・加古川地区は前年同月比6.6%増となり、山陽百貨店では、化粧品と美術・宝石・貴金属が前年の倍の水準だった。

3月の県内百貨店売上高

品目	神戸	姫路・加古川	合計
紳士服・洋品	628(10.3)	152(0.5)	780(8.2)
婦人服・洋品	3,964(13.9)	567(1.6)	4,532(11.7)
子供服・洋品	380(12.3)	84(24.8)	465(3.0)
身の回り品	1,108(5.8)	257(8.1)	1,365(6.3)
雑貨	1,919(30.5)	382(38.1)	2,302(31.7)
家庭用品	465(24.3)	124(14.5)	590(22.1)
食料品	2,946(3.8)	677(2.9)	3,624(3.7)
その他	575(11.7)	282(13.7)	857(12.4)
計	11,988(12.7)	2,529(6.6)	14,518(11.6)

単位百万円、百万円未満切捨て。()内は、前年同月比伸び率% 資料：兵庫県百貨店協会
神戸地区には芦屋、姫路地区には加古川を含む。

平成27年1月より神戸地区の集計店舗が変更。(宝塚阪急を除き、大丸神戸店やそごう神戸店など計5店舗の前年売上高を比較している。)



【個人消費】『新車登録』

県内3月の乗用車新車登録台数は10,209台、前年同月比4.9%減と4か月連続で前年同月の実績を下回った。

4月の乗用車新車登録を車種別にみると、普通乗用車は3,618台(前年同月比13.8%増)、小型乗用車は2,938台(同8.5%減)、軽乗用車は3,653台(同15.9%減)、乗用車合計で10,209台(同4.9%減)となった。

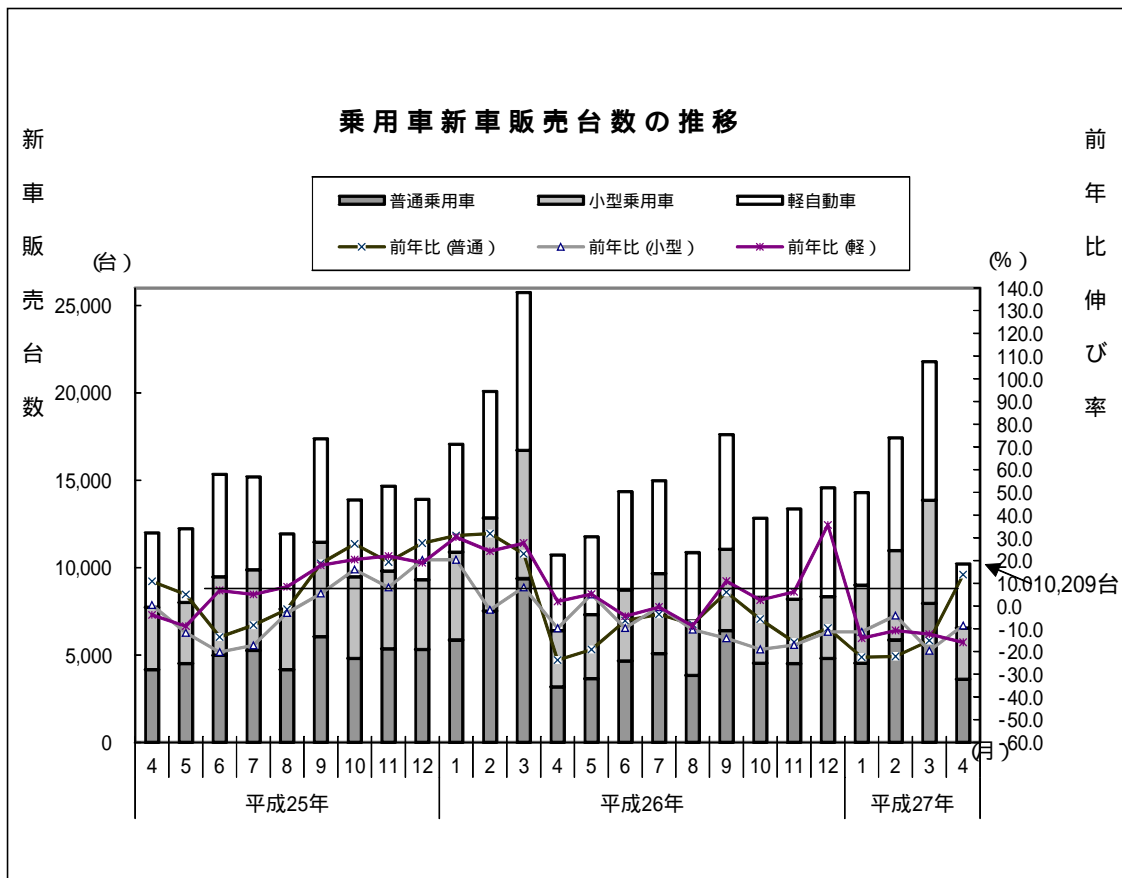
また貨物車等では、普通貨物車は306台(同13.3%増)、小型貨物車505台(同15.0%減)、軽貨物車は1,069台(同5.0%増)、バスは45台(同80.0%増)となった。

4月の新車販売(登録)台数

(単位：台、%)

車種	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
普通乗用車	3,618	13.8	81,909	8.3
小型乗用車	2,938	8.5	88,331	1.7
軽乗用車	3,653	15.9	93,129	26.9
乗用車合計	10,209	4.9	263,369	10.1
普通貨物車	306	13.3	9,721	42.6
小型貨物車	505	15.0	17,412	9.8
軽貨物車	1,069	5.0	27,974	3.6
貨物車合計	1,880	0.1	55,167	6.6
バス	45	80.0	938	45.9
登録車総計	12,134	4.0	319,474	7.5

資料：自販連兵庫県支部、兵庫県軽自動車協会



【設備投資】

内閣府が5月18日に発表した機械受注統計によると、平成27年3月実績は以下のとおり。

最近の機械受注総額(季節調整値)の動向をみると、27年2月前月比0.0%減の後、27年3月は同1.8%増の2兆4,820億円となった。

このうち、民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、2月前月比1.4%減の後、3月は同2.9%増の8,694億円となった。

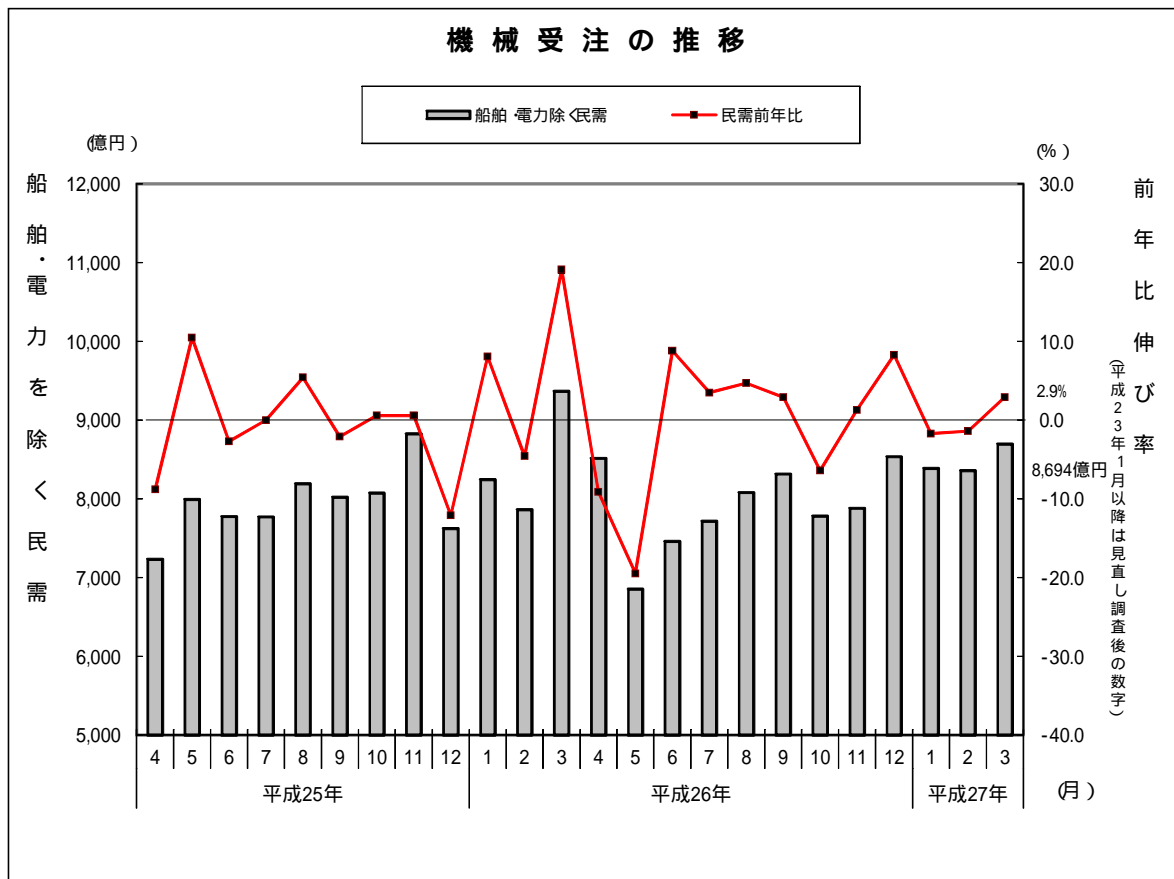
内訳をみると、製造業が同0.3%増の3,638億円、非製造業(船舶・電力を除く)は同4.7%増の4,978億円であった。

製造業民需受注を業種別でみると、前月比で増加したのは15業種中、パルプ・紙・紙加工品(363.9%増) 石油製品・石炭製品(32.0%増) 造船業(28.2%増) 化学工業(23.9%増) 非鉄金属(11.7%増) その他の輸送用機械(8.0%増) 情報通信機械(7.6%増) 一般機械(5.0%増)等の8業種で、自動車・同付属品(1.3%減) 「その他製造業」(2.0%減) 金属製品(6.7%減) 精密機械(7.6%減) 電気機械(11.0%減) 鉄鋼業(16.8%減) 食品製造業(55.1%減)等の7業種は減少となった。

一方、非製造業では、前月比で増加したのは12業種中、卸売業・小売業(30.3%増) 鉱業・採石業・砂利採取業(16.8%増) リース業(15.8%増) 電力業(12.4%増) 「その他非製造業」(12.1%増) 運輸業・郵便業(10.6%増) 農林漁業(4.4%増)、建設業(2.5%増) 情報サービス業(0.8%増) 通信業(0.6%増)等の10業種で、金融業・保険業(1.7%減) 不動産業(39.1%減)等の2業種は減少となった。

兵庫県下においては、2015年度設備投資額は、製造業、非製造業ともに増加を見込んでいることから、全産業でも増加計画。

*全国企業短期経済観測調査(短観)結果 2015年3月 兵庫県
設備投資計画：全産業前年度比+7.4% (製造業+4.8%、非製造業+18.4%)



機械受注統計（平成27年3月分）

	26年 4~6月 実績	7~9月 実績	10~12月 実績	27年 1~3月 実績	4~6月 見通し	26年 12月 実績	27年 1月 実績	2月 実績	3月 実績
受注総額	78,016 (15.3) [26.9]	67,303 (-13.7) [0.7]	63,662 (-2.4) [-1.2]	73,570 (12.0) [8.7]	72,524 (-1.4) [-11.7]	22,297 (8.4) [2.9]	24,379 (9.3) [8.2]	24,371 (-0.0) [10.8]	24,820 (1.8) [7.8]
民需	27,532 (-9.4) [2.1]	28,844 (4.8) [3.5]	28,327 (-1.8) [-1.9]	33,474 (18.2) [12.3]	30,818 (-7.9) [5.7]	10,061 (15.1) [10.0]	10,926 (8.6) [4.3]	10,025 (-8.2) [8.1]	12,524 (24.9) [17.8]
“(Ex船・電)	23,166 (-7.7) [-0.4]	24,038 (3.8) [2.4]	24,195 (0.7) [-2.6]	25,713 (6.3) [3.3]	23,810 (-7.4) [-1.7]	8,362 (5.6) [11.4]	8,570 (2.5) [1.9]	8,448 (-1.4) [5.9]	8,694 (2.9) [2.6]
製造業	9,402 (-8.7) [4.1]	10,412 (10.7) [10.2]	10,663 (2.4) [8.6]	10,911 (2.3) [5.2]	9,886 (-9.4) [3.6]	3,768 (10.4) [27.1]	3,648 (-3.2) [7.3]	3,625 (-0.6) [13.8]	3,638 (0.3) [-0.1]
非製造業 (Ex船・電)	14,212 (-3.1) [-3.1]	13,727 (-3.4) [-2.7]	13,581 (-1.1) [-9.6]	14,733 (8.5) [1.4]	14,022 (-4.8) [-5.4]	4,631 (5.0) [2.0]	5,002 (8.0) [-1.9]	4,753 (-5.0) [0.5]	4,978 (4.7) [3.6]
官公需	8,971 (24.1) [11.8]	7,640 (-14.8) [-19.7]	7,940 (3.9) [-2.5]	8,286 (4.4) [6.5]	8,689 (4.9) [-6.5]	2,726 (6.9) [3.0]	3,371 (23.7) [37.4]	2,720 (-19.3) [3.2]	2,196 (-19.3) [-0.2]
外需	37,386 (35.2) [61.0]	27,864 (-25.5) [3.7]	26,947 (-3.3) [-1.0]	29,894 (10.9) [6.2]	29,173 (-2.4) [-25.7]	8,765 (0.1) [-5.3]	10,005 (14.2) [8.2]	10,663 (6.6) [16.0]	9,225 (-13.5) [-1.3]
代理店	3,006 (2.3) [13.0]	3,101 (3.2) [9.0]	3,152 (1.6) [5.9]	3,004 (-4.7) [2.5]	3,181 (5.9) [3.8]	1,083 (8.1) [12.3]	1,018 (-6.0) [-6.3]	1,036 (1.7) [5.7]	950 (-8.2) [7.7]

資料：内閣府経済社会総合研究所

- 備考
1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
 2. 四半期は合計額、()内は対前期(月)増減率、[]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

【住宅投資】

県内3月の新設住宅着工戸数は、総数で2,898戸(前年同月比13.9%増)となり、持家が減少したが、貸家、給与住宅、分譲住宅が増加したため、全体では前年を上回った。また、前月比では590戸の増加となった。

3月の新設住宅着工戸数

(速報、単位：戸、%)

	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
持家系・持家	764	0.5	21,352	1.4
・分譲住宅	990	37.7	17,560	4.9
貸家系・貸家	1,074	1.8	30,243	4.6
・給与住宅	70	2233.3	732	98.9
総数	2,898	13.9	69,887	0.7

資料：兵庫県住宅計画課、国土交通省

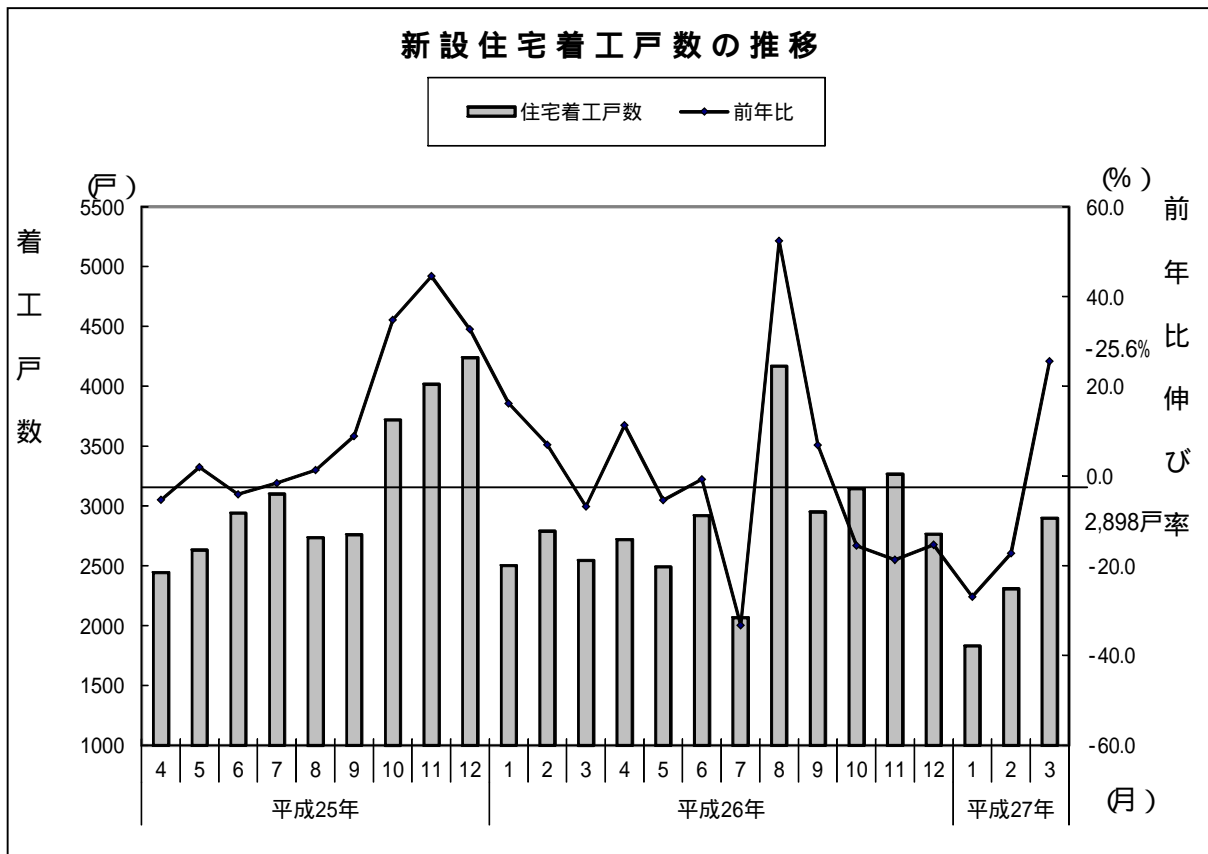
3月の地域別着工戸数

(戸)

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
戸数	1,076	357	421	445	91	290	74	54	30	60	2,898
前月比	69.4	-17.7	49.8	13.8	65.5	-10.2	-8.6	63.6	7.1	27.7	25.6

資料：兵庫県住宅政策課

平成27年3月の新設住宅着工累計は、総数で2,898戸、前年同月比353戸の増加となった。利用関係別では「持家」が764戸(前年同月比0.5%減)、「貸家」が1,074戸(同1.8%増)、「分譲住宅」が990戸(同37.7%増)、「給与住宅」が70戸(同2233.3%増)となった。



【公共工事】

4月の県内公共工事動向を西日本建設業保証(株)兵庫支店の前払金保証取扱状況でみると、件数は352件で前年同月比0.6%の増加、請負金額は531億円で前年同月比4.1%の減少となった。

発注者別(金額ベース)にみると、「独立行政法人等」前年同月比63.4%の増加、「神戸市」同32.8%の増加、「兵庫県」同1.0%の増加となったが、「神戸市を除く市町」同30.3%の減少、「その他の団体」同41.0%の減少、「国」同73.3%の減少となり、前年同月比4.1%の減少となった。

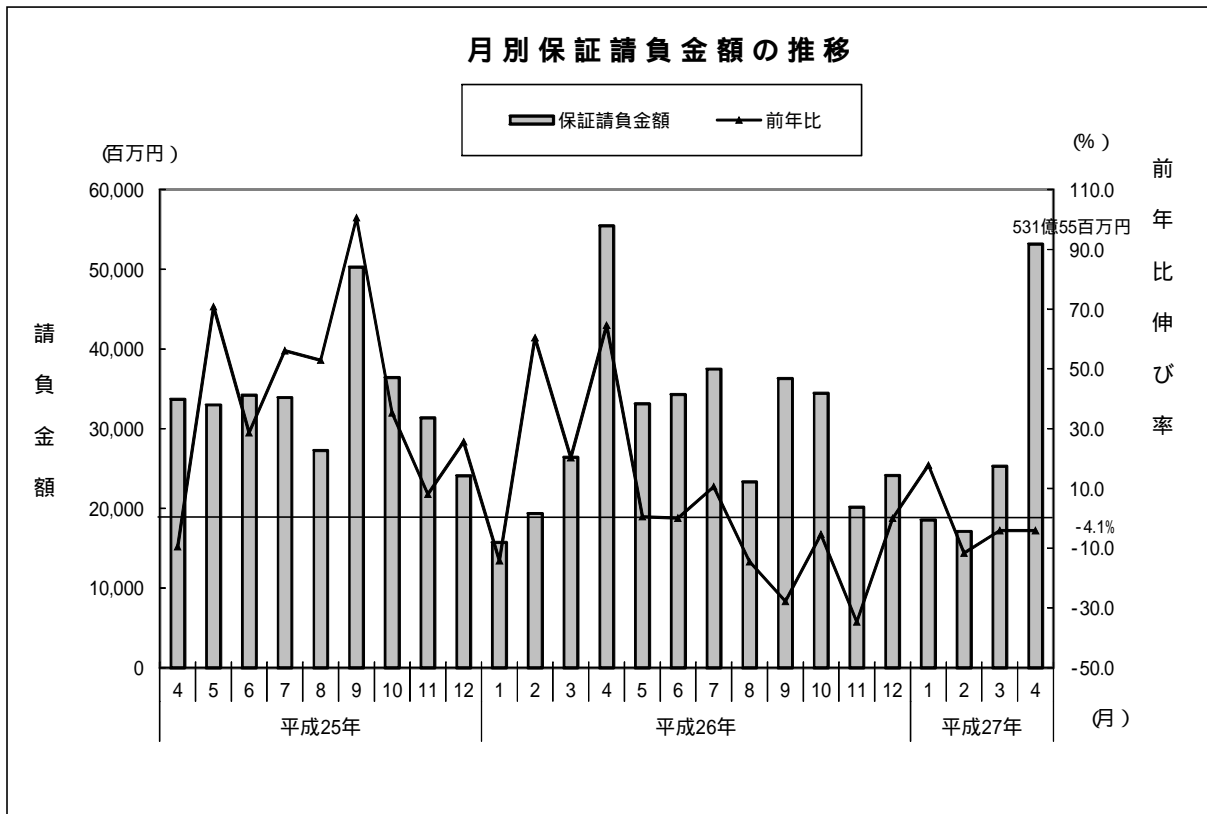
地域別(金額ベース)では、淡路(前年同月比882.5%)、中播磨(同196.8%)、阪神北(同96.0%)、東播磨(同60.6%)が増加となったが、神戸市(同7.7%)、丹波(同23.8%)、西播磨(同45.4%)、阪神南(同52.3%)、北播磨(同64.6%)、但馬(同67.2%)が減少となり、前年同月比4.1%の減少となった。

4月の公共工事発注状況

金額単位未満切捨て、()内は前年同月比伸び率増減：%

発注者	件数	金額(百万円)	大型工事明細(5億円以上)
国	6(40.0)	397(73.3)	
独立行政法人等	19(11.8)	20,113(63.4)	新名神高速道路川西トンネル工事、新名神高速道路猪名川中工事等
兵庫県	178(7.3)	11,870(1.0)	県住30号兼菅姫路御国野・御着住宅建築工事、地改(国)5001-1-017号(国)178号浜坂道路久谷第1トンネル工事等
神戸市	33(22.2)	2,962(32.8)	26A3-046(仮称)本山第一住宅8号棟建設工事
神戸市を除く市町	91(1.1)	9,730(30.3)	第2014000401号洲本市新庁舎等建設工事、朝来市新庁舎建設工事等
その他の団体	25(108.3)	8,080(41.0)	新商業高校建築、新統合病院建設整備事業等
合計	352(0.6)	53,155(4.1)	

資料：西日本建設業保証(株)



【貿易】

平成27年4月の神戸港貿易概況(速報)によると、輸出入総額は7,755億円、前年同月比8.2%の増加で、総額ベースで26か月連続して増額となった。輸出は、重電機器などが増加したものの、原動機などが減少した。一方、輸入は、たばこなどが増加したものの、金属鉱及びくずなどが減少した。

輸出は4,940億円(前年同月比8.2%増)と2か月連続増加した。

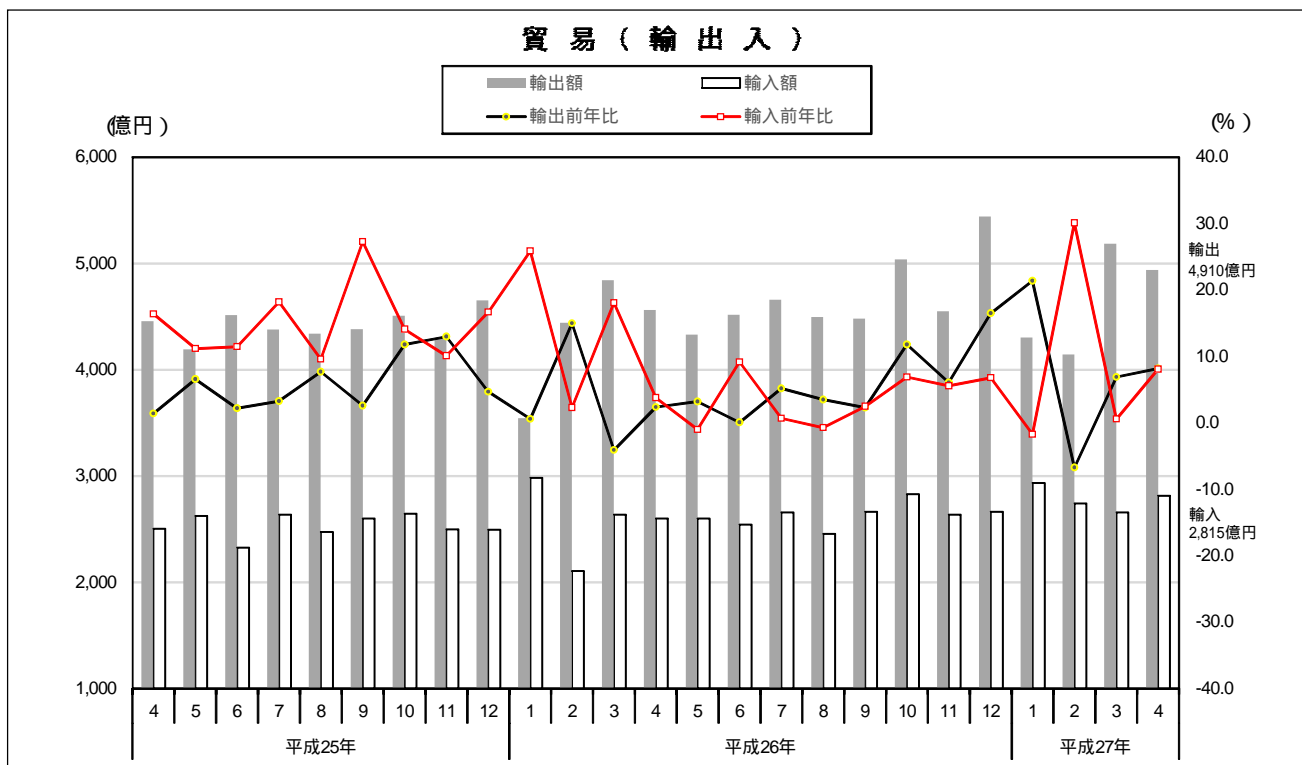
主要品目では、織物用糸及び織製品(前年同月比13.2%増、2か月連続プラス)、プラスチック(同10.7%増、2か月連続プラス)、建設用・鉱山用機械(同1.2%減、9か月連続マイナス)、原動機(同11.7%減、3か月連続マイナス)

主要地域(国)別では、米国(前年同月比20.2%増、8か月連続プラス)、EU(同16.0%増、7か月連続プラス)、アジア(中国含む)(同6.0%増、2か月連続プラス)、中国(同1.1%増、2か月連続プラス)が増加した。

輸入は2,815億円(前年同月比8.1%増)と3か月連続増加した。

主要品目では、たばこ(前年同月比2.2倍増、3か月連続プラス)、非鉄金属(同38.9%増、12か月連続プラス)、衣類および同付属品(同9.8%増、2か月ぶりにプラス)が増加したが、有機化合物(同5.8%減、3か月ぶりにマイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、米国(前年同月比16.2%増、3か月連続プラス)、アジア(中国を含む)(同3.3%増、2ヶ月ぶりにプラス)、中国(同1.3%増、2か月ぶりにプラス)は増加したが、EU(同0.3%減、2か月連続マイナス)が減少した。



【物 価】『消費者物価』

4月の神戸市消費者物価指数は、総合指数が103.0(平成22年=100)となり、前月比は0.2%上昇、前年同月比は0.6%上昇となった。生鮮食品を除く総合指数は102.7となり、前月比は0.2%上昇、前年同月比は0.2%上昇となった。また、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は101.4となり、前月比は0.3%の上昇、前年同月比は0.1%上昇となった。

前月からの動きを見ると、交通などの下落により「交通・通信」が0.2%、電気代の下落により「光熱・水道」が0.2%下落したが、シャツ・セーター・下着類の上昇により「被服及び履物」が1.9%、野菜・海藻などの上昇により「食料」が0.2%、理美容用品などの上昇により「諸雑費」が0.6%、家事用消耗品などの上昇により「家具・家事用品」が1.4%、保健医療サービスなどの上昇により「保健医療」が0.7%、教養娯楽用耐久財の上昇により「教養娯楽」が0.2%、設備修繕・維持の上昇により「住居」が0.1%、補習教育の上昇により「教育」が0.1%上昇した結果、総合指数では0.2%の上昇となった。

4月の神戸市消費者物価指数(速報)

	総合	食料	住居	光熱 水道	家具 家事用品	被服及 履物	保健 医療	交通 通信	教育	教養 娯楽	諸雑費	生鮮食品を 除く総合	食料・エネ ルギーを 除く総合
指 数	103.0	102.5	101.6	121.0	101.8	103.2	99.5	101.4	102.3	97.9	108.4	102.7	101.4
前月比	0.2	0.2	0.1	-0.2	1.4	1.9	0.7	-0.2	0.1	0.2	0.6	0.2	0.3
前年同月比	0.6	1.8	0.3	3.7	-1.5	-0.5	0.1	-1.2	0.4	-0.2	0.1	0.2	0.1

(注)平成22年=100

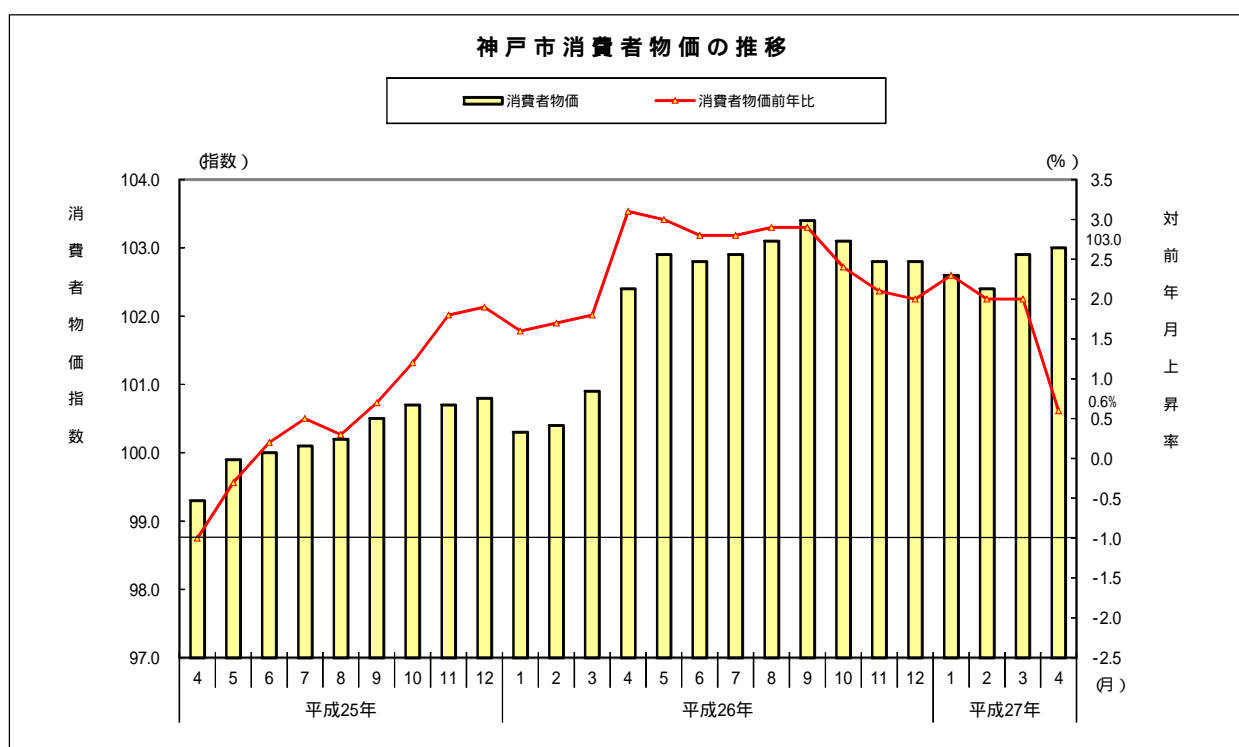
資料：兵庫県統計課

対前月比値上がりした主な品目

シャツ・セーター・下着類 (+ 4.6%)・・・子供Tシャツ、スポーツシャツ
野菜・海藻 (+ 4.7%)・・・キャベツ、ねぎ

対前月比値下がりした主な品目

交通 (- 1.2%)・・・航空運賃、JR料金(新幹線・在来線)
電気代 (- 0.7%)・・・電気代



【物 価】『企業物価』

日本銀行調査統計局が5月15日に発表した、企業物価指数(速報)による2015年4月の企業物価指数は次のとおり。

4月の企業物価指数

(速報、2010年=100)

	指 数	前月比(%)	前年同月比(%)
国内企業物価	103.6	0.1	-2.1
輸出物価	112.5	-0.4	3.2
輸入物価	114.8	-1.8	-9.5

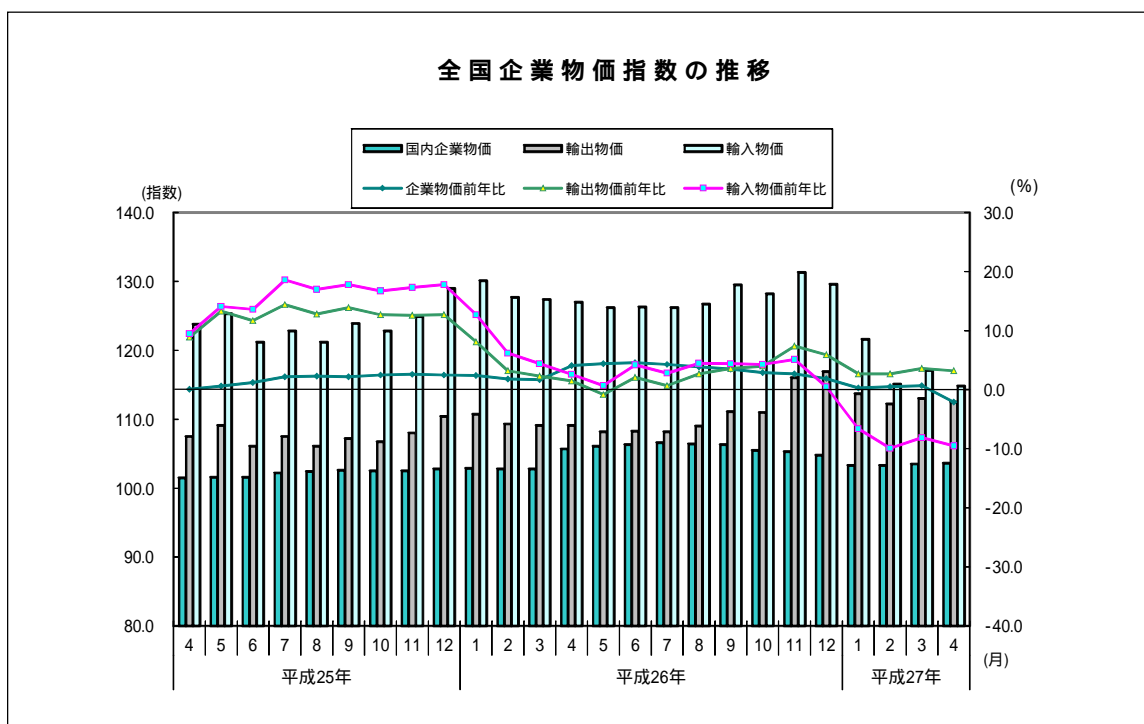
資料：日本銀行調査統計局

国内企業物価は、金属製品(前月比+0.8% <鉄骨など>)、農林水産物(同+0.8% <牛肉など>)、電力・都市ガス・水道(同+0.7% <産業用特別高圧電力など>)、石油・石炭製品(同+0.4% <ナフサなど>)、輸送用機器(同+0.2% <駆動・伝導・操縦装置部品など>)等が上昇し、プラスチック製品(同-0.5% <プラスチックフィルム・シートなど>)等が下落した。全体では前月比0.1%となった。

4月は103.6と前年同月比で2.1%減少した。消費税を除く国内企業物価指数は100.7で前月比は0.1%上昇し、前年同月比2.2%減少した。

輸出物価は、化学製品(前月比+2.5% <スチレンモノマーなど>)等が上昇し、その他産品・製品(同-0.6% <ジェット燃料油・灯油など>)、電気・電子機器(同-1.0% <ディスプレイデバイスなど>)、金属・同製品(同-1.7% <金地金など>)等が減少し、円ベースでは前月比0.4%の減少(前年同月比3.2%増加)となった。

輸入物価は、電気・電子機器(前月比+0.3% <モス型ロジック集積回路など>)、化学製品(同+0.2% <汎用プラスチック(序飽和ポリエステル樹脂)など>)等が上昇し、食料品・飼料(同-1.3% <牛肉など>)、金属・同製品(同-3.1% <鉄鉱石など>)、石油・石炭・天然ガス(同-4.5% <液化天然ガスなど>)等が減少し、円ベースでは前月比1.8%の減少(前年同月比9.5%減少)となった。



【雇 用】

(1) 求人状況

県内3月の新規求人数(全数)は、30,647人(前年同月比8.2%増)で、2か月ぶりに前年を上回った。また、月間有効求人数(全数)は88,600人(同6.9%増)で59か月連続して前年を上回った。

雇用形態別(新規求人)にみると、一般常用では、前年同月比2.6%増で2か月ぶりに前年を上回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)については同15.1%増で16か月連続して前年を上回った。また臨時・季節では同3.6%増で2か月ぶりに前年を上回った。

さらに、新規求人を主要産業別にみると、製造業(前年同月比19.0%増)、運輸業、郵便業(同9.9%増)、卸売業、小売業(同2.1%増)、宿泊業、飲食サービス業(同33.7%増)、医療、福祉(同11.6%増)は前年を上回ったが、建設業(同1.8%減)、学術研究、専門・技術サービス業(同7.9%減)、生活関連サービス業、娯楽業(同1.9%減)、サービス業(同6.8%減)は前年を下回った。

(2) 求職状況

3月の新規求職申込件数(全数)は21,194件(前年同月比5.2%減)で2か月ぶりに前年を下回った。また、月間有効求職者数(全数)は、87,269人(同4.9%減)で58か月連続して前年を下回った。

雇用形態別(新規求職)にみると、一般常用では前年同月比7.0%減で9か月連続して前年を下回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)では同1.7%減で2か月ぶりに前年下回った。また、臨時・季節については、前年同月比103.0%増で2か月連続して前年を上回った。

さらに、新規常用求職者(パートを除く)を就業・不就業の態様別にみると、在職者は前年同月比3.1%減で3か月連続して前年を下回り、事業主都合離職者は同9.5%減で26か月連続して前年を下回り、自己都合離職者は同6.4%減で9か月連続して前年を下回り、自営・他は同18.9%減で2か月ぶりに前年を下回り、無業者は同13.2%減で39か月連続して前年を下回った。

なお、雇用保険失業給付の受給者実人員は、19,482人(前年同月比5.8%減)で、26か月連続して前年を下回った。

(3) 求人倍率状況

3月の求人倍率(季節調整値)は、新規求人倍率が1.53倍(前月比0.20ポイント増)で前月を上回り、有効求人倍率については0.95倍(前月比0.01ポイント増)で前月を上回った。

(4) 失業者の状況

3月の全国の完全失業率(季節調整値)は3.4%、完全失業者数(原数値)は228万人(前年同月比18万人減)となった。また、近畿の完全失業率(原数値)は3.6%(前年同月比0.8ポイント減)で、完全失業者数(原数値)は37万人(前年同月比9万人減)となった。

産業別新規求人数の状況

(新規学卒者を除きパートタイムを含む)

	全 産 業	建 設 業	製 造 業	情 報 通 信 業	運 輸 ・ 郵 便 業	卸 売 ・ 小 売 業	金 融 ・ 保 険 業	不 動 産 ・ 物 品 賃 貸 業	学 術 研 究 ・ 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	宿 泊 業 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス ・ 娯 楽 業	医 療 ・ 福 祉	サ ー ビ ス 業
27年3月	30,647	1,953	3,469	289	1,557	4,129	176	488	745	3,266	1,140	7,985	3,711
前年同月比	8.2	1.8	19.0	3.0	9.9	2.1	2.2	0.6	7.9	33.7	1.9	11.6	6.8

(単位：人、前年同月比増減率：%)

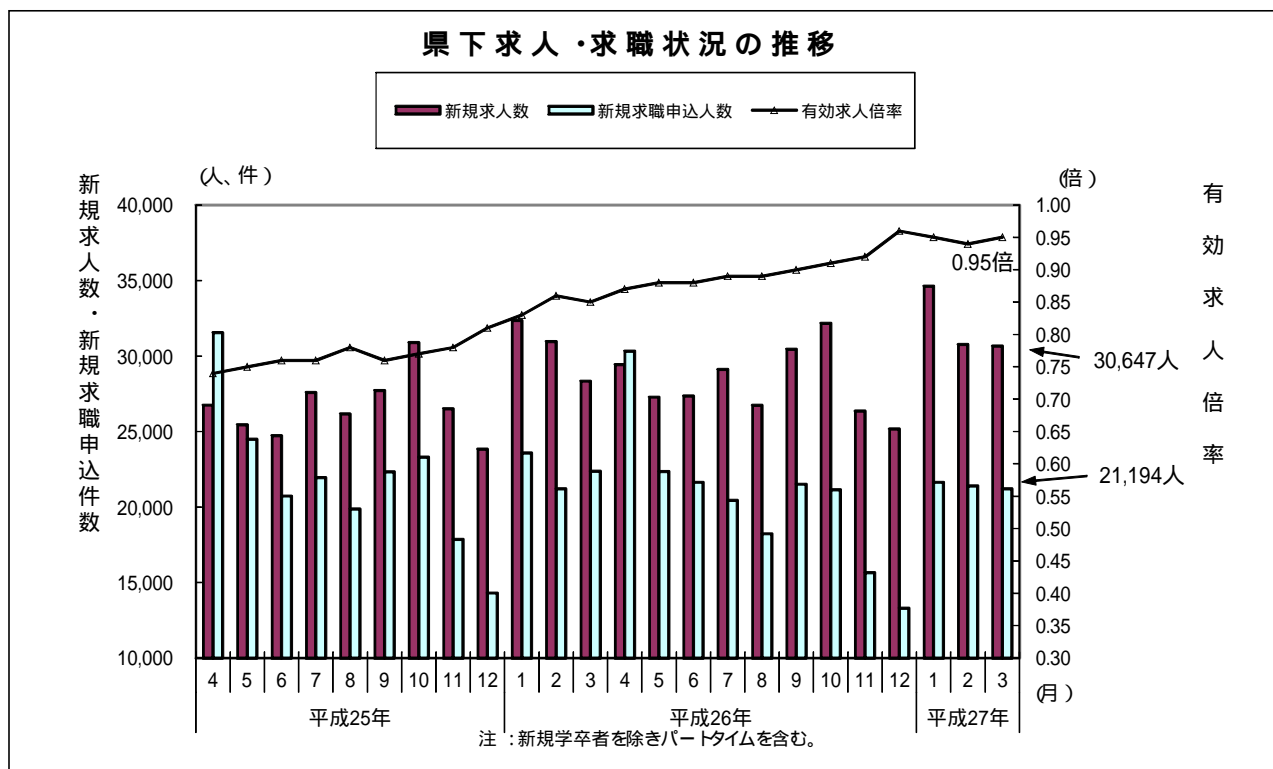
資料：兵庫労働局

雇用・賃金の推移

項目・年月	14/1-3	14/4-6	14/7-9	14/10-12	15/1	15/2	15/3
有効求人倍率 (季調済、倍)	0.85	0.87	0.90	0.93	0.95	0.94	0.95
新規求人数 (原数値、前年比%)	8.5	9.3	5.9	3.0	7.1	0.7	8.2
所定外労働時間 (規模5人以上、前年比%)	12.5	9.5	0.3	3.4	1.0	8.3	7.4
常用労働者数 (規模5人以上、前年比%)	0.4	0.1	0.3	0.5	0.5	0.4	0.6
一人当り名目賃金 (規模5人以上、前年比%)	0.2	1.2	0.0	0.9	0.4	0.9	2.4

資料：兵庫労働局、兵庫県企画県民部

県下求人・求職状況の推移



【信用保証】

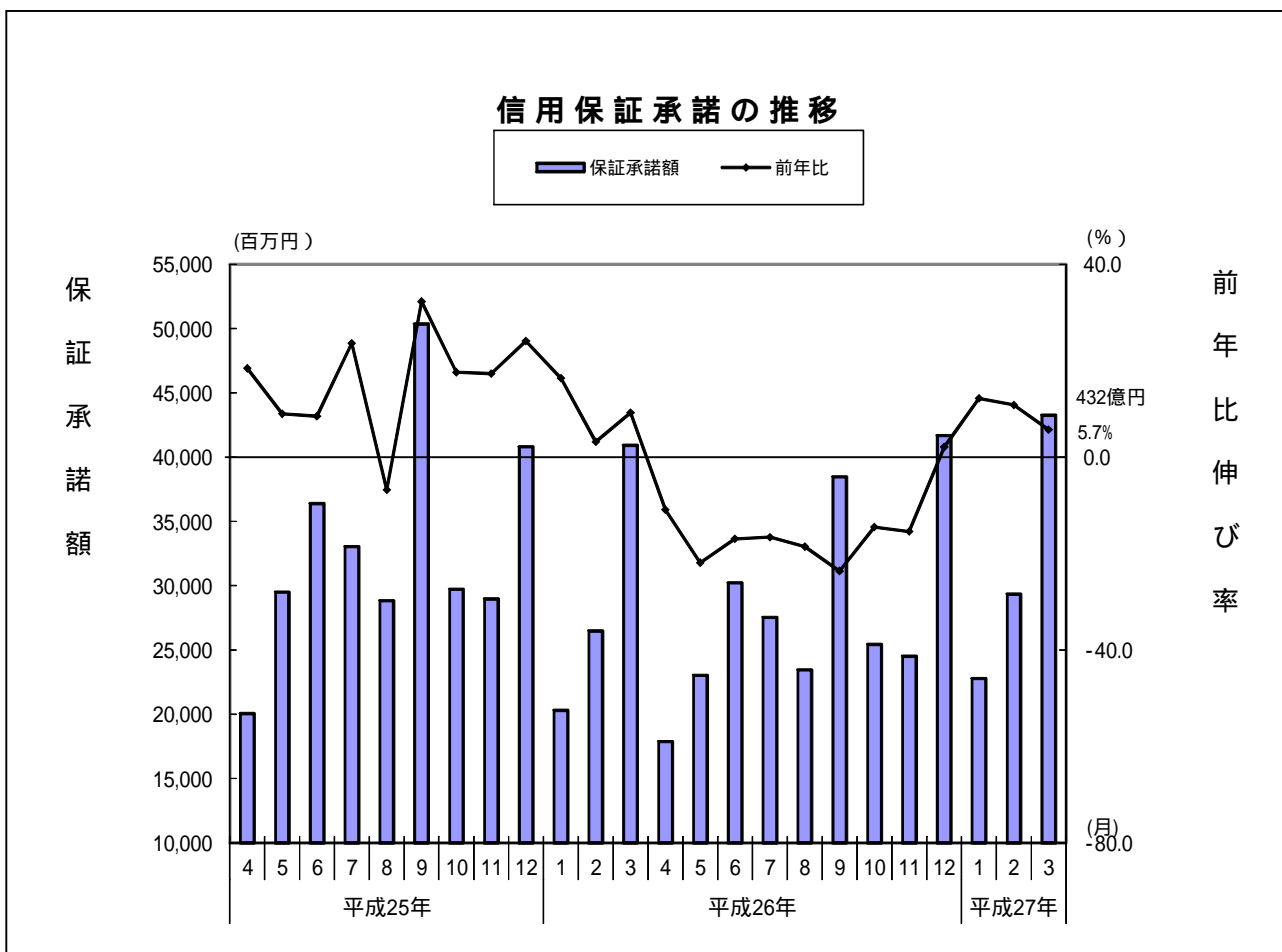
兵庫県信用保証協会による3月の保証承諾実績は、件数で2,630件(前年同月比11.6%増)、金額は432億57百万円(同5.7%増)となり、前年同月実績と比べ件数、金額ともに上回った。

資金使途別では、運転資金39,885百万円(前年同月比5.8%増)、設備資金1,094百万円(同6.0%減)となり、前年同月と比べ、運転資金は上回り、設備資金は下回った。

業種別(金額ベース)では、「建設業」11,976百万円(前年同月比39.6%増)、「不動産業」1,917百万円(同15.2%増)、「小売業」5,245百万円(同12.5%増)、「製造業」7,633百万円(同0.4%増)等で前年同月を上回り、「飲食店」1,034百万円(同0.8%減)、「運送・倉庫業」2,619百万円(同9.5%減)、「サービス業」4,572百万円(同12.5%減)、「卸売業」7,628百万円(同12.8%減)等で前年同月を下回った。

3月末の保証債務残高は、97,080件(前年同月比4.1%減)、1兆957億81百万円(同5.8%減)となった。

一方、同月の代位弁済は、128件(前年同月比28.1%減)、13億83百万円(同51.3%減)となった。



【金融】

3月末の県内金融機関の預貸金残高(日本銀行神戸支店調べ)は以下の通り。

(単位：億円、%)

	預 金	前年同月比	貸 出	前年同月比
都市銀行等	154,231	4.0	56,892	0.6
地方銀行	26,560	4.1	23,858	6.6
第二地方銀行	33,418	1.5	21,972	5.3
信用金庫	82,241	2.1	38,163	0.8
その他	17,348	2.0	17,781	1.9
計	313,798	3.1	158,666	2.1

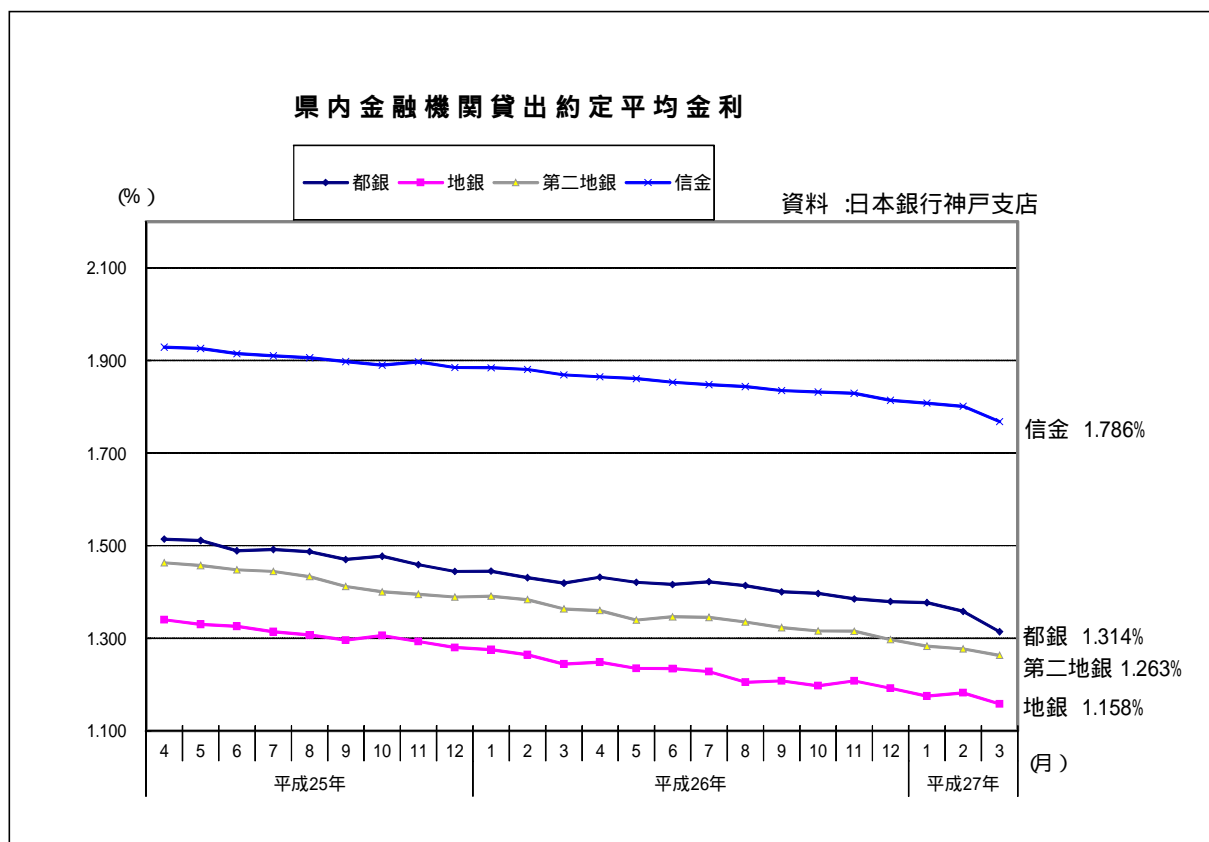
・都銀等 = 都市銀行、信託銀行、新生銀行、シティバンク銀行の計。

・その他 = 信用組合、労働金庫、商工中金、国民公庫、中小公庫の計。ただし、預金は国民公庫、中小公庫を除く。

3月の預金は、前年を上回って推移している。(前年比+3.1%)

3月の貸出は、前年を上回って推移している。(前年比+2.1%)

3月の貸出約定平均金利(ストックベース)は、緩やかに低下している(3月末水準 1.440%、前月比 0.029%ポイント)。



【倒 産】

県内4月の企業倒産(負債総額1千万円以上、東京商工リサーチ神戸支店)は43件で前年同月比12.24%の減少、負債総額は37億41百万円で同12.24%の減少となった。

倒産件数は、前月比10件(18.86%)の減少。前年同月比では6件(12.24%)の減少となった。なお、4月単月では過去10年間(平成18年以降)で、最も少なかった。一方、負債総額は、10億円以上の大型倒産が1件発生したが、1千万円以上5千万円未満が30件発生した事などから、前年同月比で9億68百万円、前月比27億83百万円と共に減少した。

原因別(件数)では、「販売不振」を中心とする「不況型倒産」が36件(全体の83.7%)を占めた。

業種別(件数)では、「サービス業」が15件(前年前月比4件減少)でトップであった。

「資本金別」では、「個人企業他」を含めた資本金1,000万円未満までの倒産が31件発生し、全体の72.1%を占めた。

「産業別」では、「サービス業他」が15件でトップとなった。

未だ中小及び零細企業を取り巻く経営環境は全般的に厳しい内容が聞かれる為、4月単月で減少に転じたとは言え、当月のみを捉えて判断するのは時期尚早と言え、今しばらくは、経営体力を損耗している中小・零細企業への注視が引き続き肝要と言える。

4月の原因別・業種別の倒産件数

(負債総額1,000万円以上)

原因別						業種別					
	当月	前月	前月比	前年	前年比		当月	前月	前月比	前年	前年比
放漫経営	1	1	0	2	-1	建設業	14	8	6	7	7
過小資本	3	7	-4	2	1	製造業	3	5	-2	6	-3
連鎖倒産	1	3	-2	5	-4	卸売業	2	10	-8	6	-4
赤字累積	7	7	0	3	4	小売業	8	5	3	6	2
販売不振	29	35	-6	35	-6	情報通信業	0	1	-1	0	0
売掛金回収難	0	0	0	0	0	サービス業	15	18	-3	19	-4
その他	2	0	2	2	0	不動産・運輸業他	1	6	-5	5	-4
合計	43	53	-10	49	-6	合計	43	53	-10	49	-6

資料：東京商工リサーチ神戸支店

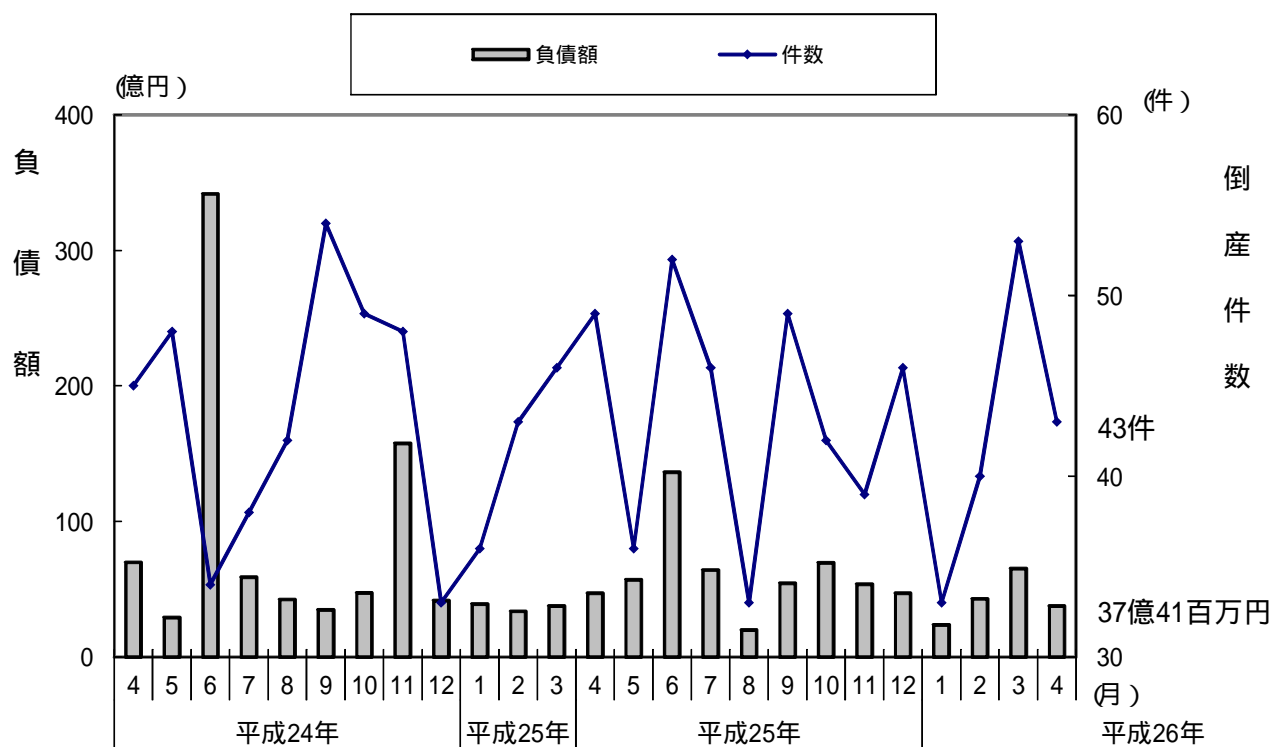
県下企業倒産件数地区別内訳 (負債総額1,000万円以上)

(単位:件数)

年 月	総数	神戸	阪神	西播	東播	但馬	丹波	淡路
19年 平均	59.3	21.3	13.6	8.3	11.3	1.8	1.3	1.7
20年 平均	62.3	20.6	19	7.9	10.6	1.8	1.3	1.1
21年 平均	62.6	21.6	18.5	9.8	9.1	0.9	1.1	1.6
22年 平均	60.8	20.8	20.6	9	6.9	1.4	0.7	1.4
23年 平均	52.2	15.2	17.2	7.9	8.7	1.3	1	0.9
24年 平均	51.9	16	19.4	5.7	6.7	1.3	0.6	2.3
25年 平均	44.6	15	13.7	6.6	6.1	1.5	0.5	1
26年 1月	36	11	6	10	6	2	1	0
26年 2月	43	17	8	6	11	1	0	0
26年 3月	46	23	11	9	0	1	1	1
26年 4月	49	18	15	10	4	2	0	0
26年 5月	36	13	14	4	2	2	1	0
26年 6月	52	20	17	6	6	2	0	1
26年 7月	46	19	14	4	1	2	1	5
26年 8月	33	8	11	5	7	0	0	2
26年 9月	49	18	10	6	2	2	0	2
26年 10月	42	14	9	7	9	0	0	3
26年 11月	39	13	13	5	4	2	1	1
26年 12月	46	9	17	10	6	2	0	2
27年 1月	33	14	10	5	3	1	0	0
27年 2月	40	12	15	7	3	0	0	3
27年 3月	53	14	23	5	7	1	0	3
27年 4月	43	15	13	8	5	0	1	1

資料:東京商工リサーチ神戸支店

県内倒産件数・負債額の推移
(負債額1千万円以上)



県内主要経済指標

項目 年月	鉱工業生産指数(季節調整済)				公共工事請負金額			新設住宅着工戸数			
	兵庫県 (22年 = 100)		全国 (22年 = 100)		兵庫県		全国	兵庫県		全国	
	指数	前月比	指数	前月比	金額	前年比	前年比	戸数	前年比	前年比	
		%	%		(億円)	%	%	(戸)	%	%	
26年	1月	106.3	3.0	103.9	3.8	157	-14.2	28.8	2,504	16.2	12.3
	2月	103.7	-2.9	101.5	-2.3	193	60.5	3.7	2,789	7.0	1.0
	3月	103.1	-0.6	102.2	0.7	263	20.2	18.1	2,545	-6.8	-2.9
	4月	101.5	-1.5	99.3	-2.8	554	64.6	10.0	2,719	11.3	-3.3
	5月	100.6	-0.9	100.0	0.7	331	0.5	14.4	2,491	-5.4	-15.0
	6月	98.3	-5.6	96.6	-3.4	342	0.1	14.4	2,919	-0.7	-9.5
	7月	100.2	1.8	97.0	0.4	374	10.6	11.4	2,067	-29.2	-14.1
	8月	96.8	-3.7	95.2	-1.9	233	-14.5	7.9	4,167	52.4	-12.5
	9月	98.0	0.9	98.0	2.9	362	-27.8	5.0	2,948	6.9	-14.3
	10月	104.7	6.5	98.4	0.4	344	-5.4	3.2	3,143	-15.5	-12.3
	11月	100.6	-4.3	97.9	-0.5	204	-34.7	2.0	3,265	-18.7	-14.3
	12月	100.3	-0.2	98.7	0.8	241	0.0	1.9	2,765	-34.8	-25.5
27年	1月	107.8	7.6	102.4	3.7	185	17.8	0.9	1,830	-26.9	-13.0
	2月	103.0	-4.5	98.9	-3.1	171	-11.6	1.0	2,308	-17.2	-3.1
	3月	110.3	6.8	98.1	-0.8	253	-4.1	-0.3	2,898	13.9	0.7
	4月					531	-4.1	4.4			
	5月										
	6月										
	7月										
	8月										
	9月										
	10月										
	11月										
	12月										
28年	1月										
資料	兵庫県統計課		経済産業省		西日本建設業保証(株) 兵庫支店			兵庫県住宅地課		国土交通省	

* p は速報値 r は確報値

項目 年月	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)			百貨店売上高			輸出入状況(神戸港)				
	兵庫県		全国	兵庫県		全国 (既存店)	輸出		輸入		
	台数	前年比	前年比	金額	前年比	前年比	金額	前年比	金額	前年比	
	(台)	%	%	(億円)	%	%	(億円)	%	(億円)	%	
26年	1月	17,055	27.5	30.6	187	-2.7	3.2	3,543	0.6	2,984	25.9
	2月	20,071	18.5	18.8	147	2.8	2.9	4,442	15.0	2,106	2.3
	3月	25,740	19.9	16.7	223	26.8	25.3	4,845	-4.1	2,639	18.1
	4月	10,732	-10.4	-5.1	135	-15.4	-10.1	4,564	2.4	2,601	3.9
	5月	11,461	-6.3	-1.3	151	-3.7	-2.1	4,331	3.2	2,600	-0.9
	6月	14,336	-6.6	0.1	159	-3.5	-2.4	4,520	0.1	2,543	9.2
	7月	14,963	-1.5	-2.6	178	-4.7	-0.4	4,609	5.2	2,658	0.7
	8月	10,857	-9.0	-9.5	144	-0.5	2.0	4,498	3.6	2,459	-0.6
	9月	17,618	1.5	-3.2	142	-1.6	1.7	4,478	2.2	2,665	2.5
	10月	12,823	-7.5	-7.4	157	-1.1	0.2	5,039	11.8	2,827	6.9
	11月	13,357	-8.9	-10.2	178	-2.5	1.5	4,553	6.1	2,639	5.6
	12月	14,565	4.7	0.3	245	-2.4	0.6	5,425	16.5	2,666	6.8
27年	1月	14,292	-16.2	-20.7	172	-3.6	-0.4	4,304	21.4	2,934	-1.7
	2月	17,426	-13.2	-15.8	139	-1.3	-17.7	4,145	-6.7	2,744	30.1
	3月	21,773	-15.4	-11.9	171	-21.3	-17.7	r 5,185	6.9	r 2,658	0.6
	4月	10,209	-4.9	-10.1	145	11.6		p 4,940	8.2	p 2,815	8.1
	5月										
	6月										
	7月										
	8月										
	9月										
	10月										
	11月										
	12月										
28年	1月										
資料	自販連兵庫県支部 兵庫県軽自動車協会			兵庫県百貨店協会		近畿経済 産業局	神戸税関				

* p は速報値 r は確報値

* 百貨店売上高の前年比は店舗調整後

項目 年月	有効求人倍率 (パートを含む)		県下常用労働者数 (30人以上,月未推計)		県下名目賃金指数 (定期給与,30人以上)		消費者物価指数 (22年=100)			
	兵庫県	全国	全産業 (千人)	前年比 %	指数 (22年=100)	前年比 %	神戸市		全国	
							指数	前年比 %	指数	前年比 %
26年 1月	(季調済) 0.83	(季調済) 1.04	1,043	0.4	100.4	1.0	100.3	1.6	100.7	1.4
2月	0.86	1.05	1,039	0.5	100.6	0.8	100.4	1.7	100.7	1.5
3月	0.85	1.07	1,039	0.4	101.1	0.6	100.9	1.8	101.0	1.6
4月	0.87	1.08	1,050	0.3	102.5	0.9	102.4	3.1	103.1	3.4
5月	0.88	1.09	1,050	-0.2	101.9	1.2	102.9	3.0	103.5	3.7
6月	0.88	1.10	1,049	-0.2	102.5	1.4	102.8	2.8	103.4	3.6
7月	0.89	1.35	1,049	-0.5	101.6	1.2	102.9	2.8	103.4	3.4
8月	0.89	1.39	1,048	-0.4	101.6	1.2	103.1	2.9	103.6	3.3
9月	0.90	1.09	1,045	0.0	101.1	0.9	103.4	2.9	103.9	3.2
10月	0.91	1.10	1,072	-0.4	102.2	1.4	103.1	2.4	103.6	2.9
11月	0.92	1.12	1,049	-0.5	102.2	1.2	102.8	2.1	103.2	2.4
12月	0.96	1.15	1,046	-0.7	102.5	0.8	102.8	2.0	103.3	2.4
27年 1月	0.95	1.14	1,032	-0.2	96.8	-0.1	102.3	2.3	103.3	2.4
2月	0.94	1.15	1,040	0.0	96.0	-0.9	102.4	-0.1	103.1	2.4
3月	0.95	1.15	1,032	-0.7	96.9	0.4	102.9	2.0	103.3	2.3
4月							0.3	0.6	103.7	0.6
5月										
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
28年 1月										
資料	兵庫県労働局		兵庫県統計課				兵庫県統計課		総務省	

27年1月は対象事業所の抽出替えのため、未公開

項目 年月	国内企業物価指数 (H24.5より22年=100)		県下金融機関 貸出金残高		貸出約定 平均金利	県下企業倒産 (負債1,000万円以上)				
	全国		金額		全国銀行	件数	金額	地域別倒産件数		
	指数	前年比 %	(各期末)	前年比 %				神戸	阪神	播磨他
26年 1月	103.0	2.5	152,338	1.3	1.254	36	38	11	6	19
2月	102.8	1.8	152,315	1.5	1.250	43	33	17	8	18
3月	102.8	1.7	155,384	1.7	1.234	46	37	23	11	12
4月	105.7	4.1	152,315	1.1	1.233	49	47	18	15	16
5月	106.1	4.4	153,310	2.0	1.229	36	56	13	14	9
6月	106.3	4.6	152,718	0.8	1.222	52	136	20	17	15
7月	106.6	4.3	152,445	1.2	1.219	46	64	19	14	13
8月	106.4	3.9	152,961	1.2	1.214	33	19	8	11	14
9月	106.3	3.5	153,780	0.9	1.202	49	54	18	19	12
10月	103.9	3.2	153,137	1.2	1.198	42	67	14	9	19
11月	105.3	2.7	153,385	0.5	1.195	39	53	13	13	13
12月	104.8	1.9	154,907	0.8	1.180	46	47	9	17	20
27年 1月	103.3	0.3	154,351	1.3	1.179	33	33	14	10	9
2月	103.3	0.5	154,880	1.7	1.173	40	42	12	15	13
3月	103.5	0.7	158,666	2.1	1.158	53	65	14	23	16
4月	103.6	-2.1				43	37	15	13	15
5月										
6月										
7月										
8月										
9月										
10月										
11月										
12月										
28年 1月										
資料	日本銀行					(株)東京商工リサーチ 神戸支店				

* p は速報値 r は確報値